

森づくり通信

No.75

2025年3月19日(水)発行 発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



かまくら

いや～、2月は雪がたくさん降りましたね。

近来稀に見るドカ雪でしたが除雪対策もシッカリされており、国道や高速の計画通行止めなど一昔前ではなかった対応で、2018年、2021年の教訓が生かされていたように思います。

先日ある中学校に森の出前講座に行き感想文が送られて来ましたが、地球温暖化になると雨や雪が降らなくなり乾燥が進むのではないかと心配していたが、逆に大雨が降ったり大雪になったりするメカニズムがわかったと書いてありました。乾燥が進む地域もある一方巨大台風や大雨、竜巻など異常気象が続く地域もあることも知ってもらいました。雪に関しての実感ですが私の小さい頃はそれほど温暖化でもなかったが、この位の積雪は当たり前だったような・・・。

令和7年 森づくりイベント予定(一般参加可能活動)

日程	イベント内容 (予定)	場所	問合せ先
5月10日(土)	テクノの森づくり 森林整備と森のレクリエーション	金沢テクノの森	金沢市森林再生課 076-220-2217
5月17日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備とシイタケ植菌体験	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990
6月15日(日)	森のファミリースクール 木工工作など	医王の里キャンプ場	テレビ金沢 076-240-9013

12月7・8日(土・日) クリスマス・ヴィレッジ

金沢の木育 クリスマス・ヴィレッジが金沢市民芸術村で2日間開催され、1230人の来場者で賑わいました。木を使ったゲームや木やどんぐりなどで作品を作るブースを設置し、木に親んでもらい森林の大切さを来場者にPRしました。私達は木のカーリング作



りを担当し107名の親子参加者がありました。スギの丸太をノコギリで切ってもらい、ハンドサンダーで磨いてイラストなどの装飾を行い、カスガイを取り付けて会場に設置したゲートを狙い遊んでももらいました。その他クリスマスコンサートも開催されました。





森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての話や、森づくり活動の際、現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

12月26日(木) 中央児童クラブ出前講座

児童40名を対象に市環境政策課と共同で、地球温暖化の問題や森林が温暖化を防ぐなどの森の恩恵などをパワーポイントや紙芝居で知ってもらいました。森の恩恵の中で、私達の飲水を作ってくれる仕組みを紙芝居「雨水のぼうけん」を見てもらい説明しました。

後半は金沢産材のスギのコースターをサンドペーパーで磨いてもらい、シールや絵付けをしてネームプレートを作ってもらいました。



12月27日(金) 八日市もりのき児童クラブ出前講座

児童34名を対象に前半30分ぐらいで森の紹介や、木を使うことは地球温暖化を防ぎ、森は私達の飲水も作ってくれていることを知ってもらいました。

後半は金沢の森を整備したときに出たスギの間伐材を使い、輪切りにしたコースター状の材料をサンドペーパーで磨いて、名前や作成日付、思い思いのイラストを描いてもらいかなりんのシールやその他のシールで飾り付けを行ってオリジナルコースターを完成させました。



1月6日(月) 太陽が丘キッズカレッジ出前講座

児童1,2年生40名で森の出前講座の申込みがありお正月1番の森の出前講座を行いました。

児童は1,2年生ばかりなので森の話もあまり難しいことを話さず、森のことを知ってもらい、身近に感じてもらえるようにしました。

森の話の後は金沢産のスギ円柱材を使ったコースターに名前やイラストを描いて、かなりんやその他のシールを貼りひもを付けてネームプレートにしました。



2月19日(水) 清泉中学校出前講座

学校の図書室の内装を金沢産の杉材で改修したことを機会に、1年生157名に森の働きや木を使う意義などの出前講座を行いました。

50分と限られた時間内で伝えたい事の話をするのはハードでしたが、後からいただいた感想文では森なんか全然興味はなかったが、自分たちの生活になくってはならないもの、地球温暖化を防いでくれているなど知ってビックリしたなどの感想を寄せてくれました。



金沢市 海岸松林 再生事業

金沢海岸の松林は防砂や防潮、防風のため先人が植栽、保育してようやく大きく成長し、人家や作物を守ってくれるようになりました。

ところが昭和の末頃から石川県でも、マツが大量に枯れる現象が目立ち始め、里山をはじめ貴重な海岸松林にまで被害が拡大してきました。

減少した海岸の松林を地域住民やボランティアの力で再生し、美しい松林を後世に引き継ぐために、金沢市が計画を策定し抵抗性クロマツを、粟崎から打木に至る金沢海岸に植栽しています。

※抵抗性クロマツとは松枯れの原因となるマツノザイセンチュウが、松の樹体内に侵入しても枯れにくい、抵抗力のあるクロマツです。



3/8 (土) 金石地区

菊水ライオンズクラブの会員の皆さん11名が、5年前に植栽した場所に抵抗性クロマツの苗を80本植えました。

5年間経ち背丈を超えるマツもある中、気候の影響やその他の要因もあると思いますが、育たず枯れてしまった所に補植を行いました。植栽の説明の時にも確認しましたが、適切な時期の保育も必要ですね。



3/9 (日) 下安原地区

金沢市下安原生産組合のメンバー2人の方が代表で参加し、抵抗性クロマツの苗を150本植えました。開始挨拶後現場に移動し植え方の実演説明を市職員が行いました。植えるところは基本的に松くい虫の被害で、伐採した跡地になり13箇所に分れており、その都度全員で移動しながら植えて行きました。



3/14 (金) 専光寺地区

専光寺ふれあいの森に金沢市マレットゴルフ協会の会員の皆さん45名が参加し、抵抗性クロマツの苗を170本植栽しました。

以前に植えたマツも様々な要因で枯れたものもありますが、この会場はメンテナンスもしっかり管理してもらっているのので、すくすくと育って来ています。

植え方の実演説明を行ってから植えてもらいました。



3/15 (土) 粟崎地区

粟崎やすらぎの林内に2010年から抵抗性クロマツの植栽や森づくりを行っているコマツ金沢工場の皆さんと地元、パークゴルフ協会会員の皆さん90名が参加し抵抗性クロマツの苗を500本植栽しました。丁寧な植え方をお願いしましたが、人数も多くて早々に作業は終了し、参加者からは物足りないとの声もあがりました。



金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」

<http://www.kanazawa-forest.com/supportbank/>

森づくりイベントの案内や会員の皆さんの活動の様子を掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどでもできるサイトとなっています。

また、サイト内には年4回発行の「森づくり通信」も閲覧できるようになっており、団体会員の活動紹介もさせて頂いております。ぜひ1度ご覧ください。



刈払機・チェーンソー 講習会のお知らせ

講習の種類	開催日	開催場所	締切日
刈払機取扱作業安全教育	令和7年 4月4日(金)	石川森林 文化ホール	3月26日(水)
伐木等業務(チェーンソー)特別教育	令和7年 5月21(水)~23日(金)	石川県 林業試験場	5月8日(木)

登録会員の方には受講に対しての支援を行っていますので、希望される方は是非受講して下さい。

会場は 石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪1-23-1)

石川県林業試験場(白山市三宮ホ1)

※お問い合わせ・お申し込みは、期日までに金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。

※必ず金沢森づくりサポートバンクにお申し込み下さい。(直接申し込みは補助対象になりません)

※申し込み期間が短いのでご注意ください。

編集雑記

「合掌造り」

五箇山や白川郷の合掌造り集落は雪が積もった風景も相まって、観光客が殺到しているとの報道がありました。私の以前の山の家(白山市三谷)もそんなに立派なものでもありませんが合掌造りで、茅葺きの家を見ると懐かしく思いだします。

私は小さかったので記憶が曖昧なのですが、屋根の葺き替えを行った事を憶えています。集落の人達が総出で手伝いに来てくれ賑やかに作業を行ってくれました。

材料はススキで葺き替えのタイミングに合わせて何年か分を濡れないようにためておき使用していたように思います。葺き替え当日はススキの束を屋根に上げてカケヤのような物で叩いたり、木で作った大きな縫い針のような物で縄を屋根裏まで通して茅を固定する作業などを飽かずに見ていました。

家自体も豪雪(4~5メートル)に対応するような造りで、囲炉裏の火は煮炊きをしない時も埋み火にして絶えず火が起こせるようになっており、時間をかけて煮るカッチリ(じゃがいもの小さいものを醤油を入れて何時間も煮る白峰の郷土料理)も燃料代も気にせず作っていたように思います。2階は広々としておりカニコを飼っていた風景も思い出します。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

